



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリングスミス

Tsuruoka Rotary Club

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成 23 年 3 月 1 日 (火) 第 2533 回 (本年度第30回) 例会

1959年6月9日創立 ● 例会場：東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10 ● 例会日：毎週火曜日 (12:30~13:30)

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

E-mail: tsuruoka08@rid2800.jp

本日(3/8)のメインプログラム

ゲストスピーチ

「省エネコンテスト」経済産業大臣賞受賞 菅原満子氏

次週(3/15)のメインプログラム

移動例会 (職場訪問)

慶応義塾大学先端生命科学研究所

会長挨拶 佐藤孝子 3月理事会報告。

皆さんこんにちは!!

春の訪れを感じる3月を迎えました。月山の雪崩の復旧にはまだ時間が掛かりそうですね。日曜日10時過ぎに家を出て、月山を越えて上山までピアノのコンサートを聴きに行ってきました。お友達とランチをして夕方4時からコンサート、終わって帰ろうと思ったら高速道路で通行止めを知り、新庄周りで戻りました。新庄からの道路もいつ雪崩が起きてとも思うほどの積雪、これから当分雪崩には注意ですね。月山の雪崩も運よく車など災害に合わなくて本当にラッキーでした。毎日ニュージーランドの地震の報道を見ながら人間の寿命、運命を考えさせられました。夢をいっぱい持って留学された皆さん本当に残念です。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。

さて3月第1週目は理事会を開催致しました。

○本日新入会員の氏名公表をさせて頂きました。

(株)庄交コーポレーション 庄交トラベル事業部

代表執行役員 石垣 直さんです。よろしくお願い致します。

○3月26日、東京東江戸川 RC 観桜会

参加者登録料はクラブ負担、その他は各自負担でお願い致します。クラブよりお酒をお土産に持って行く予定です。

○5月の台中港区 RC 統盟式、40周年記念式典、訪問についても登録料はクラブ負担、その他は各自負担です。宜しくお願い致します。打ち合わせ会を企画致しますのでお待ちください。

3月15日、慶応義塾大学先端生命科学研究所訪問

は移動例会、22日黒豚家族例会、インフォメーションに掲示してありますので参加の皆さんお知らせください。大勢の皆さんの参加お待ちしております。次週は通常例会です。

3月の素晴らしいプログラム第1弾は皆さんよくご存じの酒井天美様をゲストにお迎え致しました。皆さんスピーチお楽しみに。酒井天美様宜しくお願い致します。有難うございました。

幹事報告 青柳孝治

○ガバナー事務所

・2010-2011年度 RI 会長賞の申請は3月31日までをお願いします。

・次年度地区役員の名簿作成のため、次年度役員の顔写真・連絡先等のとりまとめをお願いします。締め切りは3月8日まで。

・ニュージーランド地震災害義援金募集のお願い

○鶴岡ローターアクトクラブ

3月の例会のお知らせ

第一例会 3月7日(月) 19:00~

第二例会 3月17日(木) 19:00~

会場は共に東京第一ホテル鶴岡

桃の節句 春を呼ぶおひな様

致道博物館 常務理事 酒井天美氏

皆様こんにちは。酒井天美でございます。懐かしい人にお目にかかれてうれしゅうございます。

昨年は娘の賀世がお雛様のことでお邪魔したそうですが、私も賀世に負けないように頑張りたいと思いま

出席報告	会員数	38 名
	出席	24 名
	出席率	63.16%
	前々回確定出席率	81.58%

■RI会長 レイ・クリングスミス ■地区ガバナー 塚原初男

■会長/佐藤孝子 ■幹事/青柳孝治 ■会長エレクト/青柳孝治
■副会長/阿部純次 ■会報委員会/樋渡美智子・嶺岸禮三

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

す。

本日お手元に雅叙園「百段雛まつり」のチラシをお届けしました。雅叙園は東京都指定の文化財になっていて、各部屋に見事な装飾が施されています。お雛様を飾るのにどうかと思いましたが、お雛様は小さくてもインパクトがあって歴史を背負ってきた迫力は見事なものでした。大変好評でした。



3月というと桃の節句、北国に住むの者にとっては嬉しい行事です。明治に旧暦から新暦に変更されたので一ヶ月早いものになっております。2月26日から3日間、家のお蔵からお雛様を運んで、御院殿という江戸時代の博物館の建物に展示いたしました。今年は例年に加えて、御所人形の段飾りという珍しいものを個人の方からお借りしておりますし、趣も変わっておりますので是非通りすがりにお寄りいただければと思います。

私にとってお雛様というのは賀世が生まれて、初節句の時に義父が初孫でもあったので、生まれる前から酒井家には徳川家、細川家のお姫様が持参したお雛様があって戦後飾ることなくお蔵に入っている。賀世のために是非その中から飾りたいと言ってくれました。それでお蔵を開けて木の箱が運び出された時に、長い冬で東京から嫁いで2年目ですから、辛いなど思っていたところに、お雛様というもので暖をふんでもらったと思っています。雪国というのは長い期間眠っていますから、春の目覚めのお祭りだということを認識したのが賀世の初節句でした。昭和48年の3月に飾っていただきまして、それ以来毎年ずっと休まず自宅に飾りました。先程述べました4月3日(旧暦3月3日)に飾って3日間で片付けるのですが、家は普段使わない部屋に飾るので、お飾りは楽しいのですが、お仕舞いは寂しくてずっと飾っておりますと、義父がまだ飾ってある、早く片付けないと5月の節句になるよと言われ、慌てて片付けたことがありました。雛祭りというのは家族が女の子の成長を願って皆で飾って楽しむ、お寿司を作ったり、雛菓子を頂いたりという特別な日という喜びがあったと思います。お雛様を飾る時はいつも義父が出してくださったことを思い出して感激を新たにしております。

外国人で日本に滞在していてその後に見聞録を書いた人の中からお雛様のことを書いてあるのを見つけました。長崎出島のオランダ商館で20歳から9年間在留したオランダ人の書いたものを紹介します。「女の子のいる家では雛祭りの飾り付けをする。その飾り付けは全体が内裏を表現する。その家の中に家具、道具、人形、その他あらゆる種類の飾り付けを組み、どれもこれも極めて繊細に巧妙に作られた一種のミニチュアである。素晴らしく可愛らしく丹精に作られている。年若い娘達は祭りの3日間は美しい着物で着飾り、饗宴に参加して祝福を受けるのである。」と書いてあります。年若い青年にとって年若い娘が美しい着物を着て

町中を歩くのが印象的だったし、御雛さまというものを日本の文化として感動したことが察せられます。明治になって、島津家の家庭教師として明治34年から7年間薩摩に滞在したアメリカ人も同じような感想を書いています。日本では雛祭りは女、子供のお祭りといわれていますが、いろいろな工芸の世界で日本の文化として誇れるものが伝えられていると思いますし、改めて社会的に受け継いでいるお雛様やお道具をきちんと管理して次の時代に伝えていきたいと思います。

田安德川家の姫と細川家の姫がお持ちになった御雛さまとお道具が今も飾られております。特に細川家の歩陽門と庄内かたばみが縫い取りされている貝おきとか、お道具全部に蒔絵が入っており、特注して日常使われるお道具がミニチュアとして作られて、それを持ってお興入れなさった訳です。当時大名家、お公様が持っていたお雛様が後世いろんなところに受け継がれています。

江戸時代、文政から弘化年間は大名家の御雛様や雛道具は上野池之端の七澤屋で作られたものです。雛人形には京都丸平の物もあり、京と江戸の職人が技を競い合い名品が生み出されました。これらは芸術性の極めて高いものです。昨年アメリカで「侍アート展」を開催し酒井家からも刀や陣羽織を出展しました。欧米ではこれらの伝統工芸はまさにアートです。

博物館の仕事は保管は勿論ですが、それ以上に多くの人、特に若い人に見ていただく努力をすることだと思います。皆様も是非ご覧下さい。

委員会報告

★職業奉仕委員会

15日の職場訪問、12時に当ホテル前からバスを出しますので遅れないようにご参集下さい。

★出席委員会

○ゲスト

致道博物館 常務理事 酒井天美氏

○メイクアップされた方

青柳 孝治	阿部 純次	富樫 松夫	佐々木 詰彦
藤川 享胤	佐藤 孝子	斎藤 昭	上野 欣一
早寄 弘	牧 衛	俣野 秀樹	加藤 恒介
木村 節			

スマイル

佐藤孝子君 酒井天美様本日はスピーチ有難うございました。

真島吉也君 酒井様お話ありがとうございました。

吉野隆一君 ロータリーの機関紙『ロータリーの友』のコーナー“この人 この仕事”に出させていただきます。厚く御礼申し上げます。

塚原初男君 酒井さんには、18年前日本雪氷学会が当地で開催され、東大名誉教授木村正三郎先生、山大名誉教授北村昌美先生とご3名による鼎談会、素晴らしい後世に残る会以来で、温かいお言葉と内容の濃いお話を受け賜りました。有難うございました。吉野さんの『ロータリーの友』への大々的な紙面紹介を祝して。